

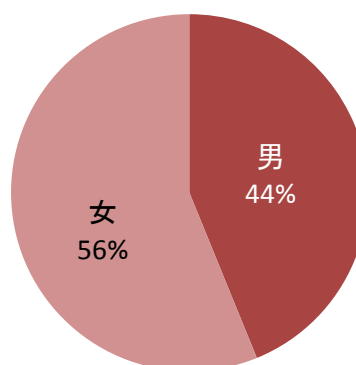
意識調査集計結果(教職員)

- ◆実施期間 : 平成26年2月12日(水)～ 2月20日(木)
- ◆配布数 : 169人
- ◆回答数 : 166人 (回収率 98.2%)

I 回答者自身について

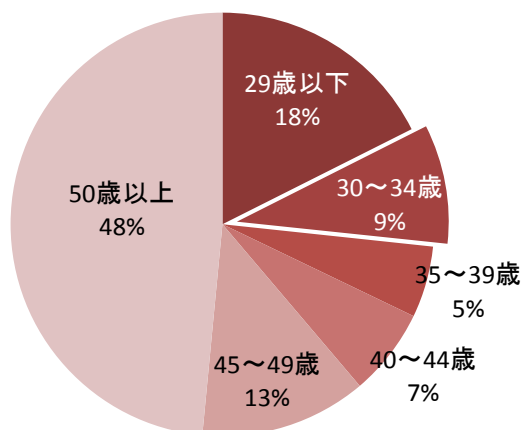
【質問1】 回答者の性別

選択項目	回答数
ア 男	71人
イ 女	91
無回答	4



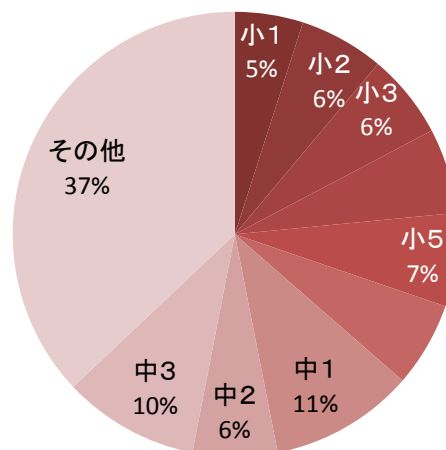
【質問2】 回答者の年代

選択項目	回答数
ア 29歳以下	29人
イ 30～34歳	15
ウ 35～39歳	9
エ 40～44歳	11
オ 45～49歳	21
カ 50歳以上	80
無回答	1



【質問3】 担当学年

選択項目	回答数
ア 小1	8人
イ 小2	10
ウ 小3	10
エ 小4	10
オ 小5	11
カ 小6	10
キ 中1	17
ク 中2	10
ケ 中3	16
コ その他	60
無回答	4

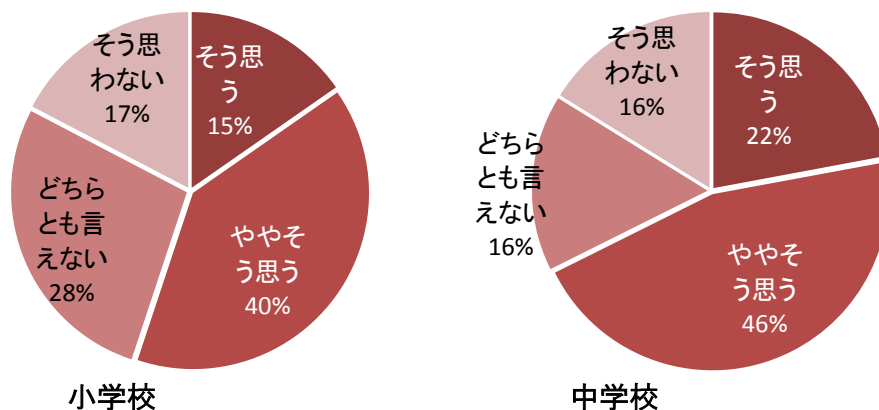


※複数の学年を担当する先生は「コ その他」に分類

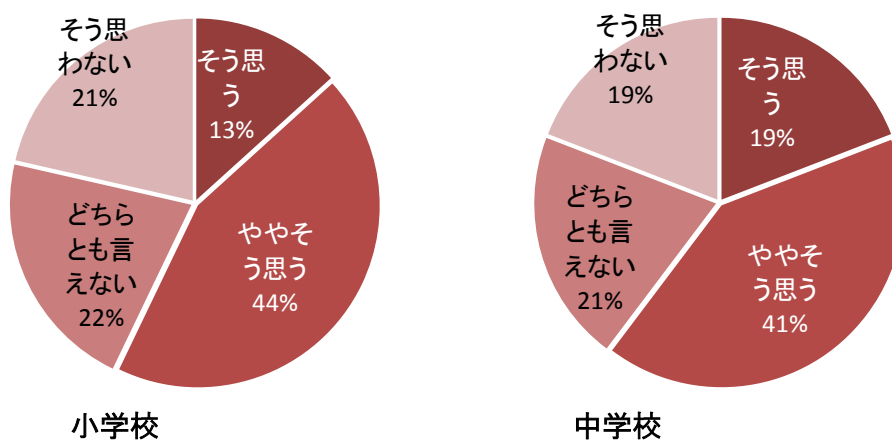
Ⅱ 学校、学級の規模について

【質問4】 児童・生徒数減少による影響について

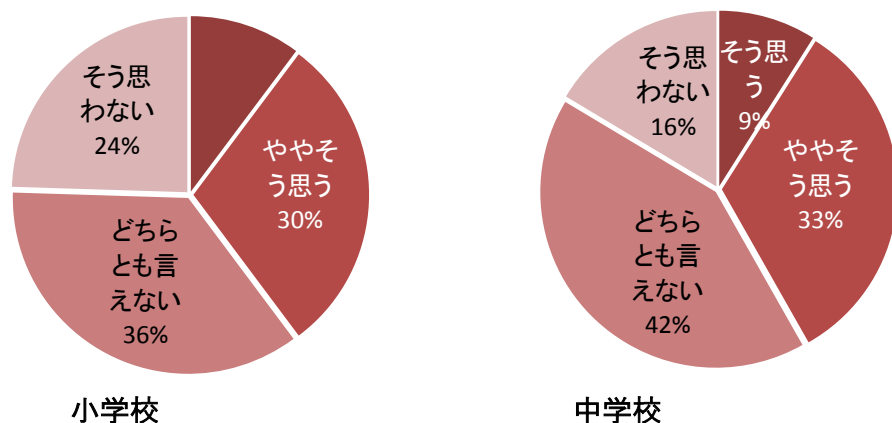
- ① 仲間との交流により切磋琢磨したり、刺激し合う機会が少なく、競争心や社会性が育ちにくくなる。… 特に中学校では約7割が実感されているようです。



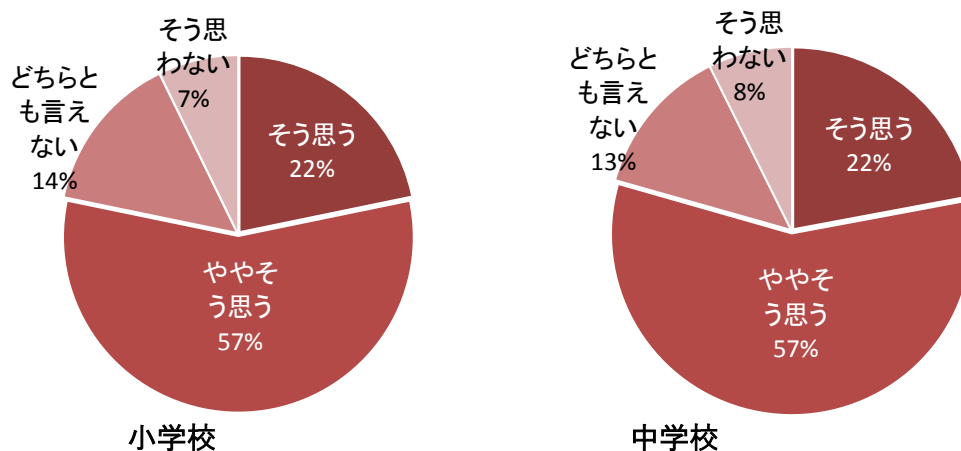
- ② 運動会の種目や音楽の合奏、合唱など、集団での活動への取組にくくなり、迫力にも欠ける… 多彩な種目、取組みを行う中学校で高い傾向です。



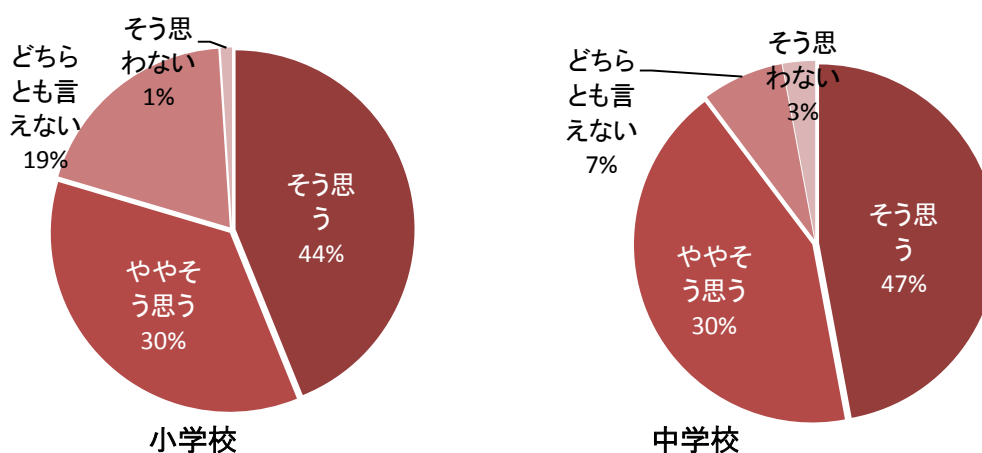
- ③ 多くの友達の見かたや考え方に触れながら学習を進めたりすることがしにくくなる… 「どちらとも言えない」の割合が多いのは「工夫次第」と窺えます。



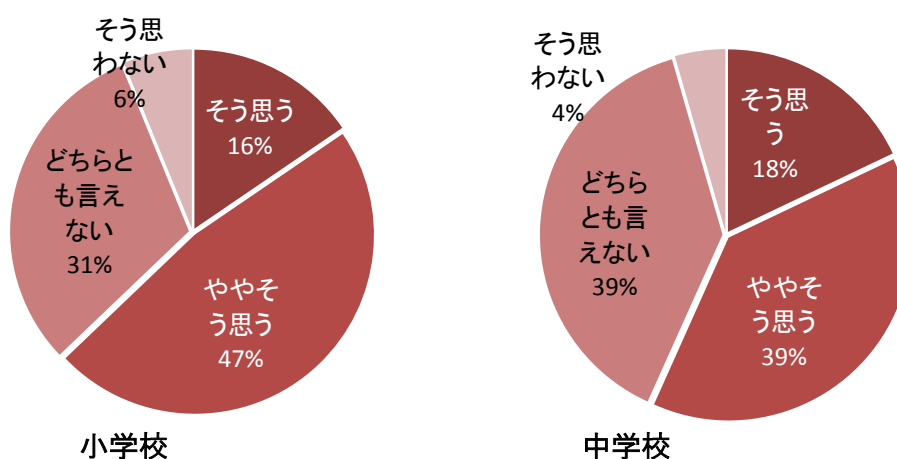
- ④ 限られた集団で育つため、子どもたちの関係や集団の中での役割、位置が固定化され
 … 多くの先生が実感している項目となりました。



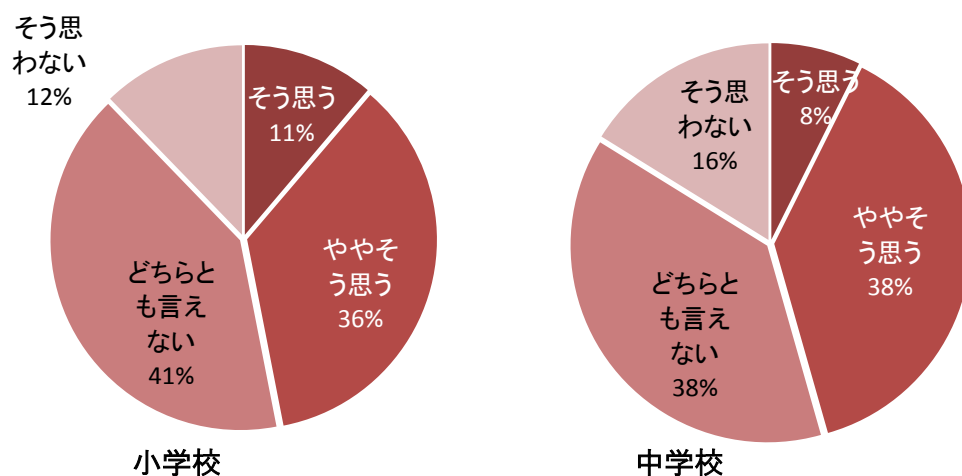
- ⑤ 先生の数が少ないため、校務に追われ子どもたちとふれあう時間が減る
 … 教員数と事務量については、今日の教育現場の課題のひとつです。



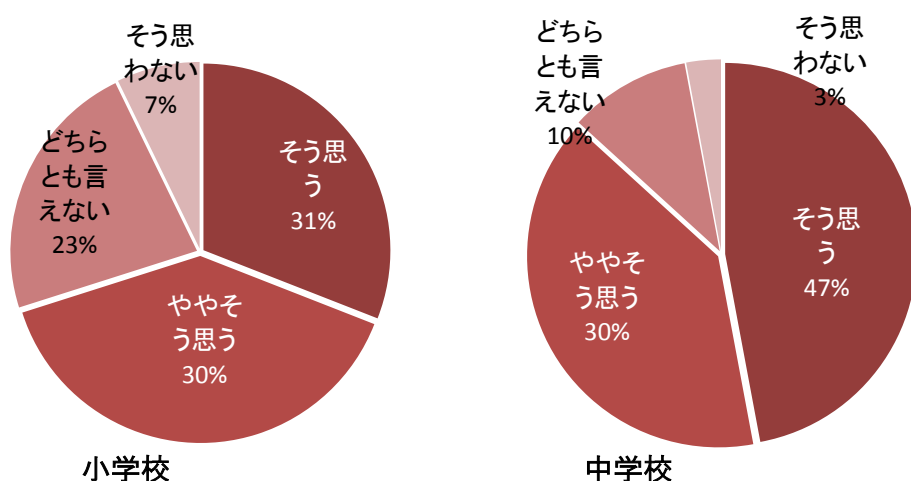
- ⑥ PTAなどの活動で、保護者の役割・負担が増える
 … 実感している割合とともに「どちらとも…」も多い結果となりました。



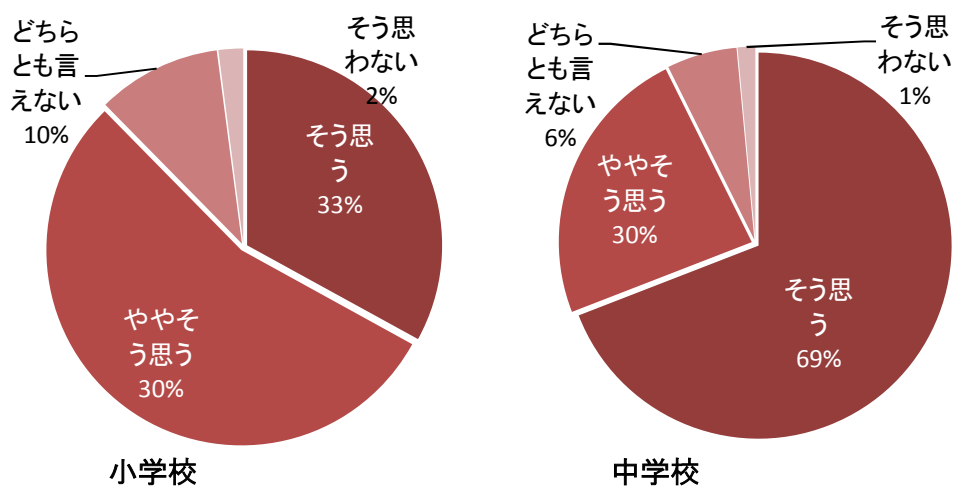
- ⑦ 保護者同士の交流機会が減少し、子育ての意見交換や、情報を得たりすることが難しくなる … 児童生徒数との相関だけではないようです。



- ⑧ 学級数の減少により先生の数が減るため学校運営が難しくなる … 「教科担任」配置を必要とする中学校において顕著な傾向が見られます。



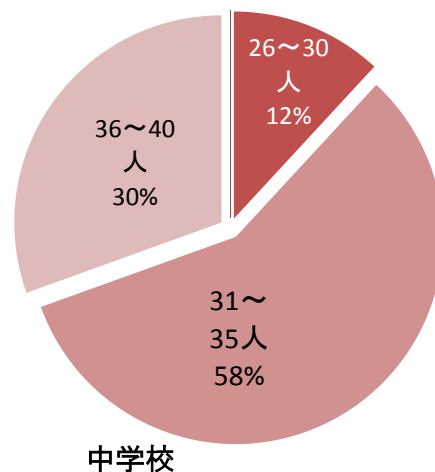
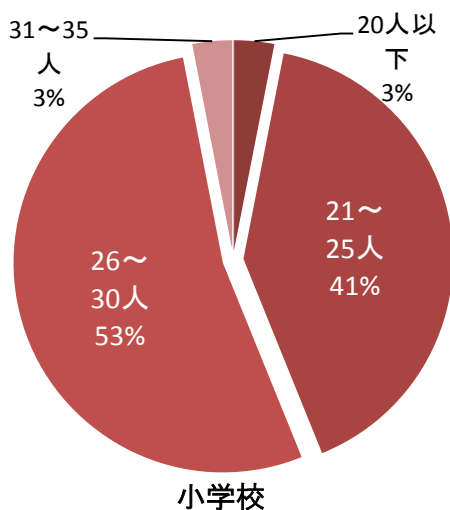
- ⑨ 部活動(クラブ活動)の種類が少なくなったり、活動内容が縮小したりする … 小中学校とも、大半の先生が感じている項目であることが判ります。



【質問5】 望ましい1学級あたりの人数

選択項目	小学校	中学校
ア 20人以下	3件	0件
イ 21～25人	40件	0件
ウ 26～30人	52件	7件
エ 31～35人	3件	34件
オ 36～40人	0件	18件

小学校では「21～30人」、中学校は「31～40人」に分布が分かれました。
子どもの年齢が低いほど目配りが必要なことがうかがえます。



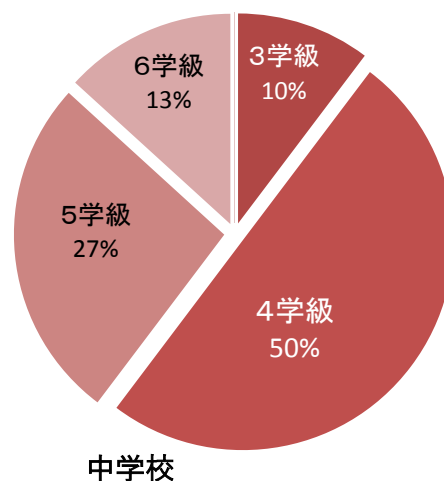
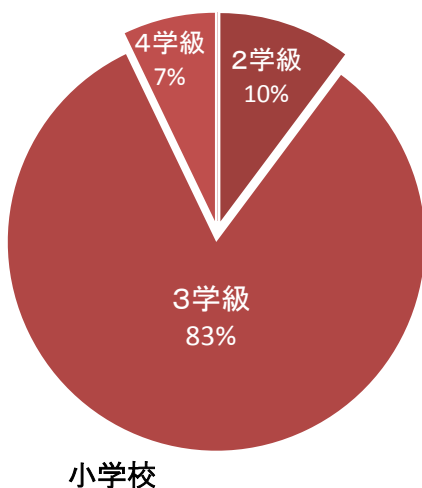
【質問6】 望ましい1学年あたりの学級数

選択項目	小学校	中学校
ア 1学級	0件	0件
イ 2学級	10件	0件
ウ 3学級	81件	7件
エ 4学級	7件	34件
オ 5学級	0件	18件
カ 6学級	0件	9件
キ その他	0件	0件

小学校は「3学級」、中学校は「4学級」がもっとも多くなりました。
なお、26年度の学級数構成は下表のとおりです。

	2学級	3学級
小学校	20	4
中学校	4	5

H26.4現在



【質問7】 【問6】1学年あたり学級数の選択理由(2つ選択)

小学校

最も多かった「3学級」の理由は、「クラス替え」「交流機会」が挙げられています。

【学級ごとの選択理由(クロス)】

	2学級	3学級	4学級
ア 同じ友だちとずっと一緒に過ごせる	1件	0件	0件
イ クラス替で、たくさんの友達とふれ合える 相性が合わない場合に環境を変えられる	3	65	6
ウ いろいろな役割を経験し、協調性を養う 機会に恵まれる	5	30	0
エ 学校全体に活気がある、学校行事が盛大 になる	2	23	2
オ 他の学級との交流や競争で、互いを高め あえる機会がある	7	36	3
カ クラブ活動や教科選択の幅が広がる	0	5	2
キ その他	0	2	0

中学校

中学校でも、最も多かった理由として、「クラス替え」「交流機会」が挙げられました。

【学級ごとの選択理由(クロス)】

	3学級	4学級	5学級	6学級
ア 同じ友だちとずっと一緒に過ごせる	0件	0件	0件	0件
イ クラス替で、たくさんの友達とふれ合える 相性が合わない場合に環境を変えられる	3	24	14	5
ウ いろいろな役割を経験し、協調性を養う 機会に恵まれる	2	8	7	2
エ 学校全体に活気がある、学校行事が盛大 になる	3	15	4	7
オ 他の学級との交流や競争で、互いを高め あえる機会がある	3	19	6	2
カ クラブ活動や教科選択の幅が広がる	0	2	3	2
キ その他	1	1	0	0

【質問8】 学校の施設・設備のうち、優先して整備した方がよいもの(3つ選択)

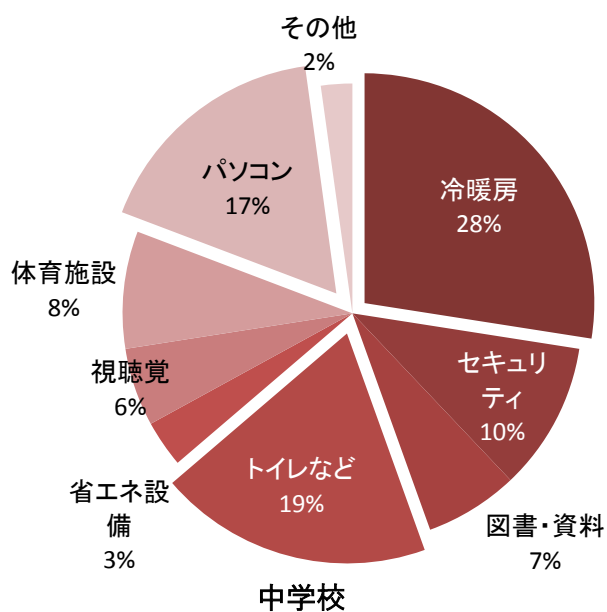
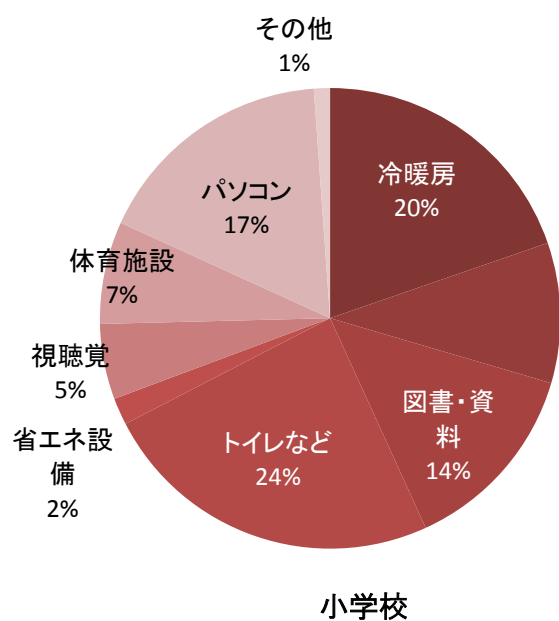
選択項目	小学校	中学校
ア 冷暖房設備	52件	50件
イ セキュリティ対策	26	19
ウ 図書・資料	36	12
エ トイレなど衛生設備	64	35
オ 省エネ設備	5	6
カ 視聴覚設備	14	10
キ 体育施設	19	15
ク パソコンとネットワーク環境	45	31
ケ その他	3	4

小中学校ともに「冷暖房」「トイレ」「パソコン」が上位に挙げられました。

他の項目も同様の分布ですが、小学校では「トイレ」、中学校は「冷暖房」の比率が高いことがうかがえます。

「ケ その他」の主なもの

校舎などの老朽化対策 / 集会室などの広い教室 / 多目的に使えるスペース机、椅子、ロッカーなどの設備 / バリアフリー設備



IV その他 自由意見欄

- 明らかな少子化次代であるため、学校施設の充実等を考えると統廃合を視野に入れて再編されることを望みます。さらに小中一貫教育の学校として同じ敷地内での一貫校を目指すのも今後の義務教育の方向かと思えます。
- 今の宮代町の現状からすると検討、改善が必要だと思います。
- 学校は、学校としての存在意義だけでなく地域の文化施設としての意味合いや地域コミュニティの中核としての役割があります。小中学校の再編にはそうした点も踏まえ地域性に配慮していただきたい。
- 子どもの学習環境を保障できるような学校であれば先生方の士気が高まり熱のある学校になっていくと考える。
- 地元の人たちの賛成が得られれば統合も止むを得ないと考えます。
- 生徒が毎日全力で学校生活を送っていますので現状のままで良いと思います。
- 臨採の先生が多くて継続した指導が続けにくいことが残念だと思う。
- 宮代町は他市町に比べて町費の非常勤職員が豊富であると感じています。そのため、学校に潤いがありきめ細やかな教育活動が行う事が出来ていると思います。予算の関係とあって減少させてしまうことは学校にとって最大の損失だと思うので絶対に削減しないでくださいお願いします。また、本採用の職員については指導力に優れたベテランの教師が増えてきたように思います。今後もさらなる優秀な教師の配置をお願いします。宮代町の未来を築く、子どもたちに最高の教育機会を与えられるようお願いします。
- 予算の面はあると思うが、児童生徒数が減っても教員の数はあまり減らさない方向で考えた方がよいと思う。
- 子どもにとっての母校は、校舎があってもなくても心に刻まれるもの。しかし、特色ある校舎は残す努力をして欲しい。(公民館利用とする等々)
- 児童数が減り学校統合になると地域性が失われてしまう気がするので少ない人数でも地域に昔からある学校がよい。親としても母校という愛情が協力性を高める要因だと思うので。
- 1、2年生は25人まで、3年生以上は1クラス30人以内でクラス編成してもらいたい。
- 35人学級の実現、通常学級に籍を置きながら知的障害のある児童生徒が支援学級、支援学校で教育が受けられることの実現
- 3学級くらいあればと考えているので、小学校も3校にしてはと思います。
- 各教科最低1人以上の教員配置が望ましいと思います。美・技・音・家等(生徒の学習内容について3年間を見通すことが出来るため)
- 小規模だと校務分掌が一人の教員に多くなり出張数も増える。そのため、学級担任不在の日が多くなってしまい、学級経営も問題がある。
- 少子化による統合は仕方ないと思いますが、今の小学校4校は学校としてよいと思います。クラス数も同様ですが、2つは優劣の見方ができてしまい、4校なら個性を出し合える数であると思っています。
- 単学級は子どもたちの役割や人間関係が固定化することを実感しています。何か配慮できることがあればと思います。
- 中学校では部活動について課題があります。教員数、生徒数の減少により部活はどんどん少なくなってきました。近くの中学校にはその子のやりたい部活がないということが多く見られます。部活の役割は生徒の成長に大きく関わるとしています。適正規模は考えていくべきだと思います。
- 人数が多いとなかなか一人ひとりに目が行き届かない、是非30人以上はなしにして欲しいです。
- ある程度の規模を確保しないと、活動等が沈滞する。小中学校の再編は必要である。

- 可能であればより多様な生徒、多様な教員の中で、幅広い経験を積みつつ学びあうことは大変有意義であると感じます。
- 子どもたちに目が行き届くよう、ゆとりを持った教育体制が必要だと思います。
- 生徒数が減り部活動や行事等で課題が出ているので再編は考えてもいいと思う。
- 小学校低学年が無理なく通える再編をお願いしたい。
- 少子化により学級数や児童数が減ることの課題はあるが、学区を広くすることで児童の登下校の支障があってはならないと思う。
- 通学距離が長くないよう配慮していただきたい。
- ①小4校、中2校とする。前原中は廃校。②須賀中の学区を広げて、笠原小を2つに分ける。③東小を現百間中の場所に移動し、前原中を百間中とする。④東小の土地に町の公共施設を建設する(進修館より使い勝手の良い文化会館等)
- 小中連携を進めているので小中一貫校をお願いします。同敷地内での学校。
- 中学校に入学するとき、2つの小学校から入学できる方がよいと思います。
- 宮代町は小4校、中3校。他市町に比べて小中一貫教育も多く行われています。中学生の指導においても落ち着きがあるのは適正配置が行われているためと思われます。
- 百間中学校と前原中学校をひとつの中学校にする
- 百間中と前原中で統合し1つの中学校にする。東小、笠原小、百間小を統合し新たに2つの小学校をつくる。須賀小中は現在のまま存続させる。
- 子どもたちの安全確保(登下校時)
- 子どもたちの通学の問題もよく考慮されて、特に中学校で自転車通学の生徒があまり多くならないこともお願いしたい。
- 適切な規模で運営されることが望ましいと思うが、児童生徒の通学圏に危険が伴わないよう最も配慮されるべきであると思う。